生ごみ処理器早見表

					平成23年度にモニター制度により使用したモニターの声（概要）			
処理器	設置時に町が用意するもの	庭	維持費	留意点	処理器の性能・耐久性 維持・管理について			他の方にこの処理器を薦めたいか
					良い点	悪い点	その他	
ベランダdeキエーロ (ベランダ置き)	<ul style="list-style-type: none"> 処理器 黒土14ℓ×8袋 	不要	◎ (ゼロ)	<ul style="list-style-type: none"> 設置場所としてベランダや庭にスペースが必要 中の土を堆肥として使ったら、土を補給する必要がある 入れられる生ごみは1日500gまで 	<ul style="list-style-type: none"> 扱いが簡単 後始末が不要 見た目が木製でよい 全く手間がかからない 	<ul style="list-style-type: none"> 冬場の分解が遅い。箱の面積が小さいのか次の穴を掘ると生ごみが未処理のまま出てくる 強風、雨の際はふたをしっかりと固定しておく必要がある 処理機がちょっと大きすぎると思う 	<ul style="list-style-type: none"> 冬場の処理能力が落ちる 黒土を半年くらいで新しく入れ替えたほうが効果的かもしれない 1～3ヶ月目（9月～11月）は処理が進んだが、4～6ヶ月目（12月～2月）は未処理の生ごみが多くなった 	<ul style="list-style-type: none"> ○薦めたい… 町内全世帯に設置できれば、ごみ排出量が劇的に削減されると思う ×いいえ… 分別方法をもえるごみと生ごみに分けて収集したら良いと思う